

3 貨物輸送の動向

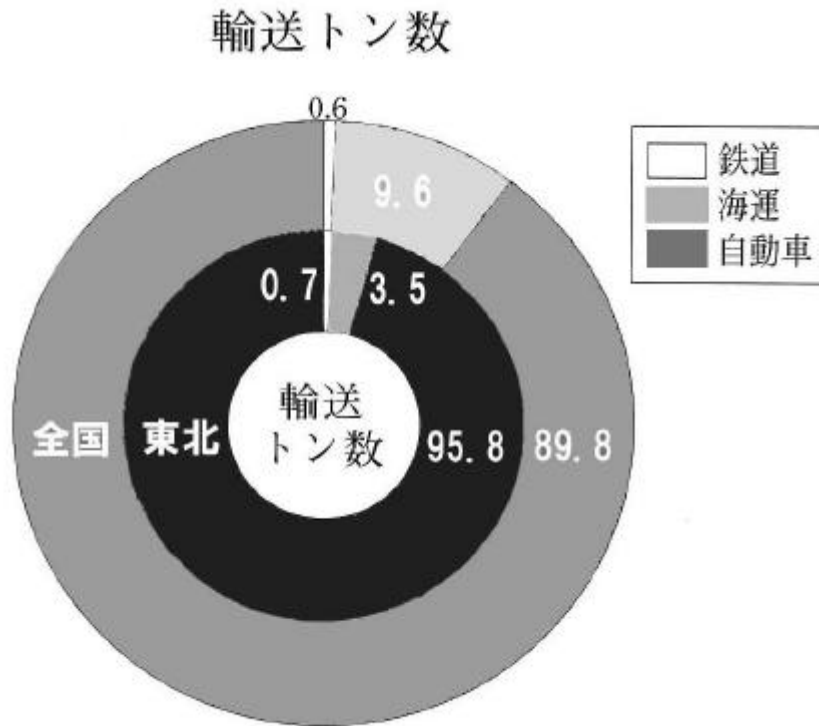
【 概 況 】

- ・ 貨物輸送機関別分担率において、東北の約96%が自動車となっており、トラックの割合が全国平均と比べても高く、海運(3.5%)の割合が低い。
- ・ 鉄道貨物は減少傾向が続いている。
- ・ トラックは、輸送トンキロの伸びが著しく、貨物輸送において、トラックへの依存度が高まっている。
- ・ 海運は、おおむね横ばいであるが、トラックに押されて分担率は低い。
また、東北地方の生産物の輸送に際して、東北地方内の港よりも京浜港の利用割合が高い。

【基礎データ】

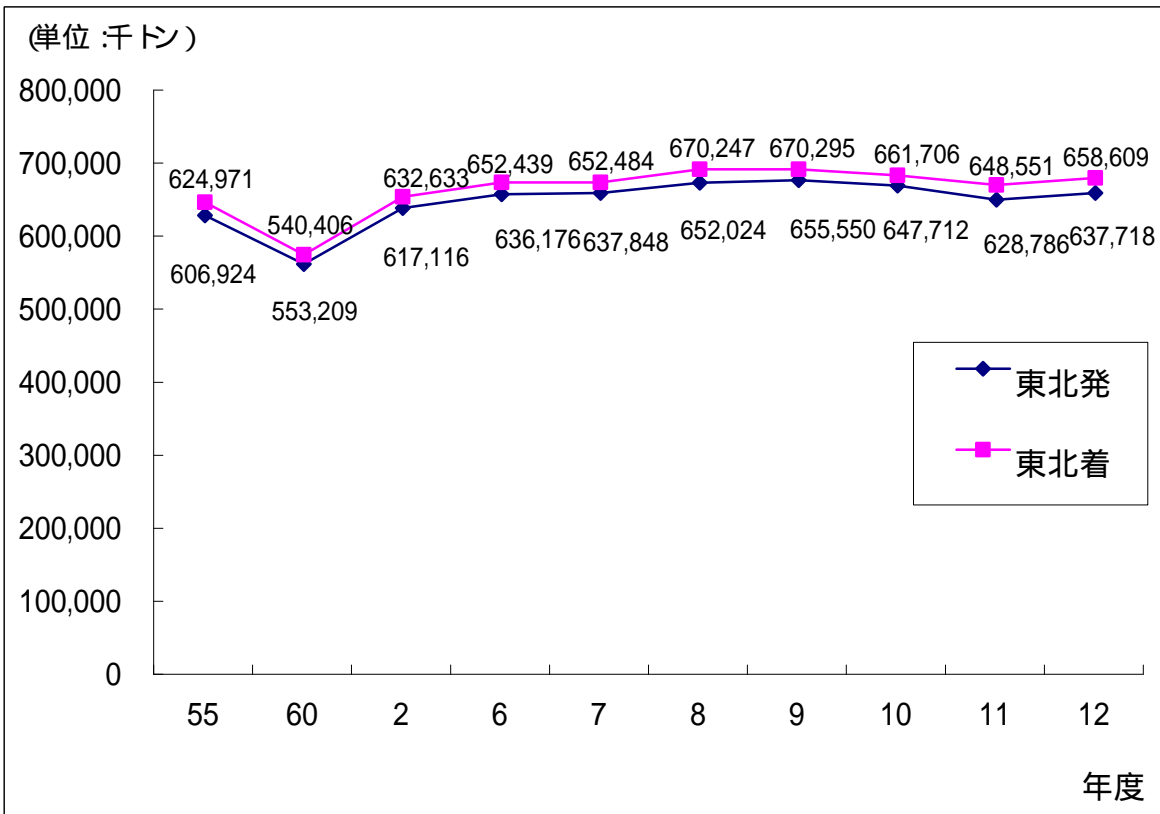
- 3 - 1 貨物輸送機関別分担率
- 3 - 2 - 1 東北発着輸送量の推移
- 3 - 2 - 2 地域間における貨物流動状況
- 3 - 2 - 3 東北と全国の貨物流動状況
- 3 - 3 鉄道貨物輸送量の推移
- 3 - 4 貨物自動車輸送量の推移
- 3 - 5 - 1 港別港湾運送取扱貨物量の推移
- 3 - 5 - 2 主要港の貨物取扱量
- 3 - 5 - 3 自地域内の港湾におけるコンテナ貨物取扱量（地域別）
- 3 - 5 - 4 利用港湾割合
- 3 - 6 モーダルシフトの利点

3-1 貨物輸送機関別分担率



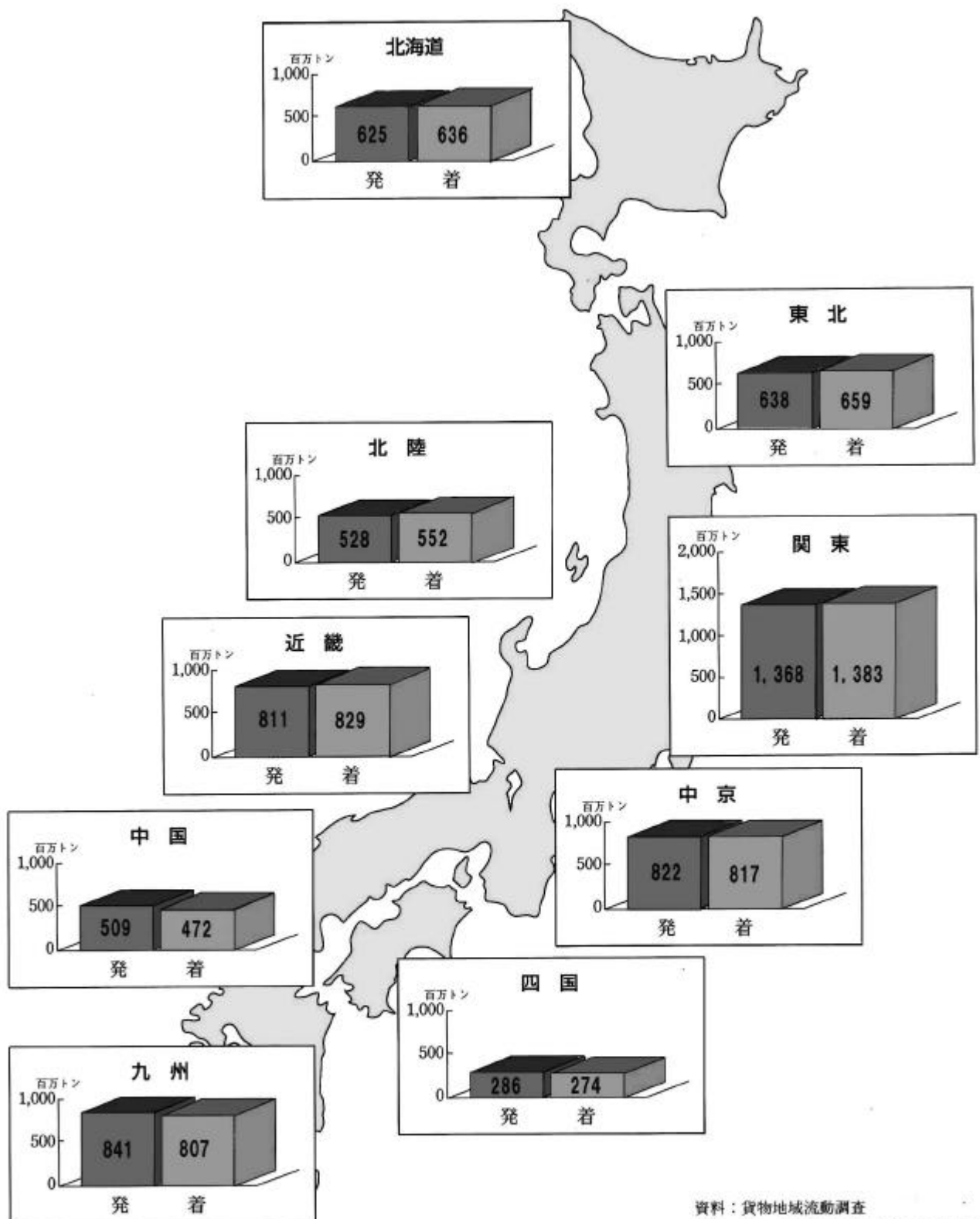
資料：貨物地域流動調査

3-2-1 東北発着輸送量の推移



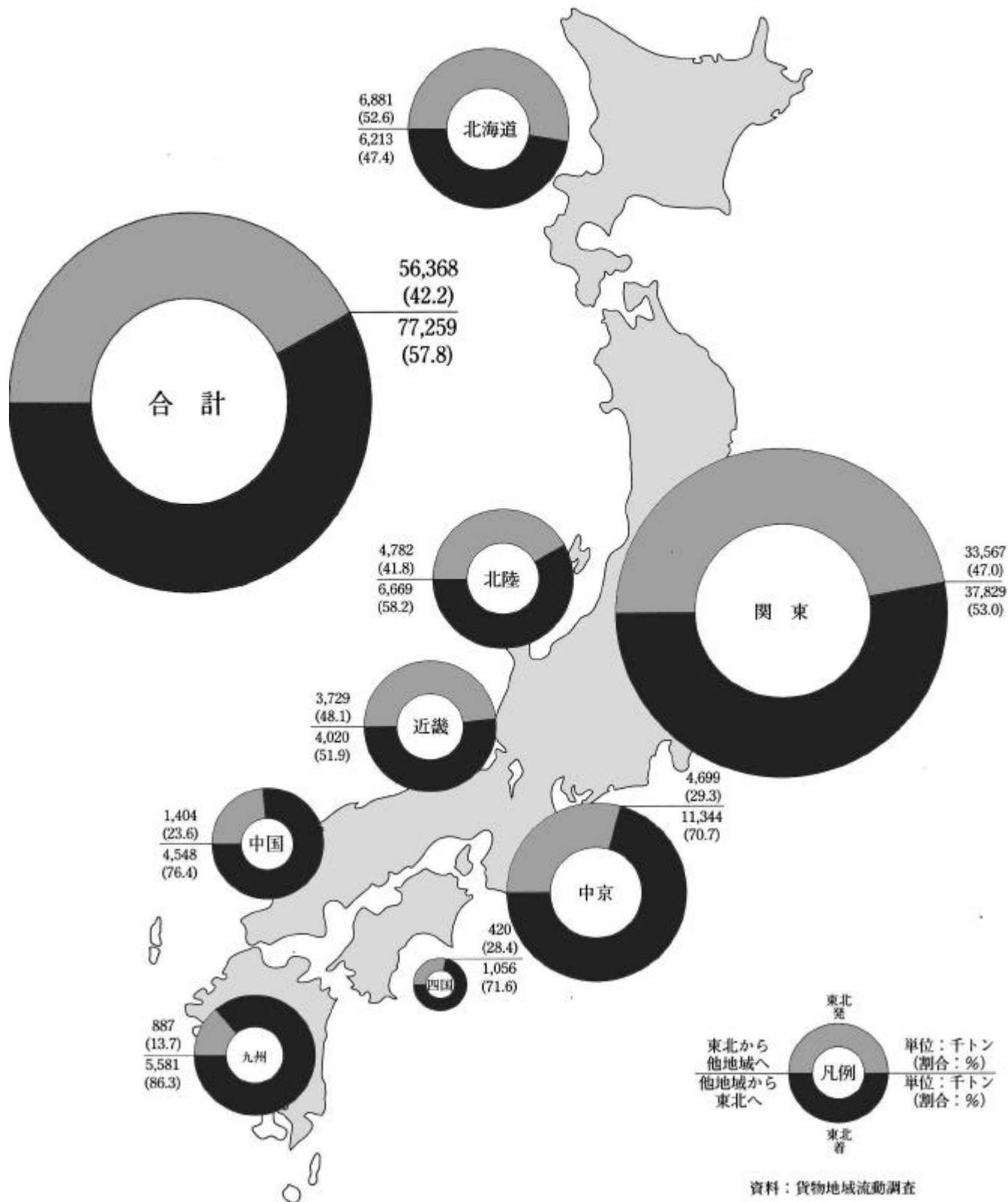
資料：貨物地域流動調査

3-2-2 地域間における貨物流動状況(平成12年度)



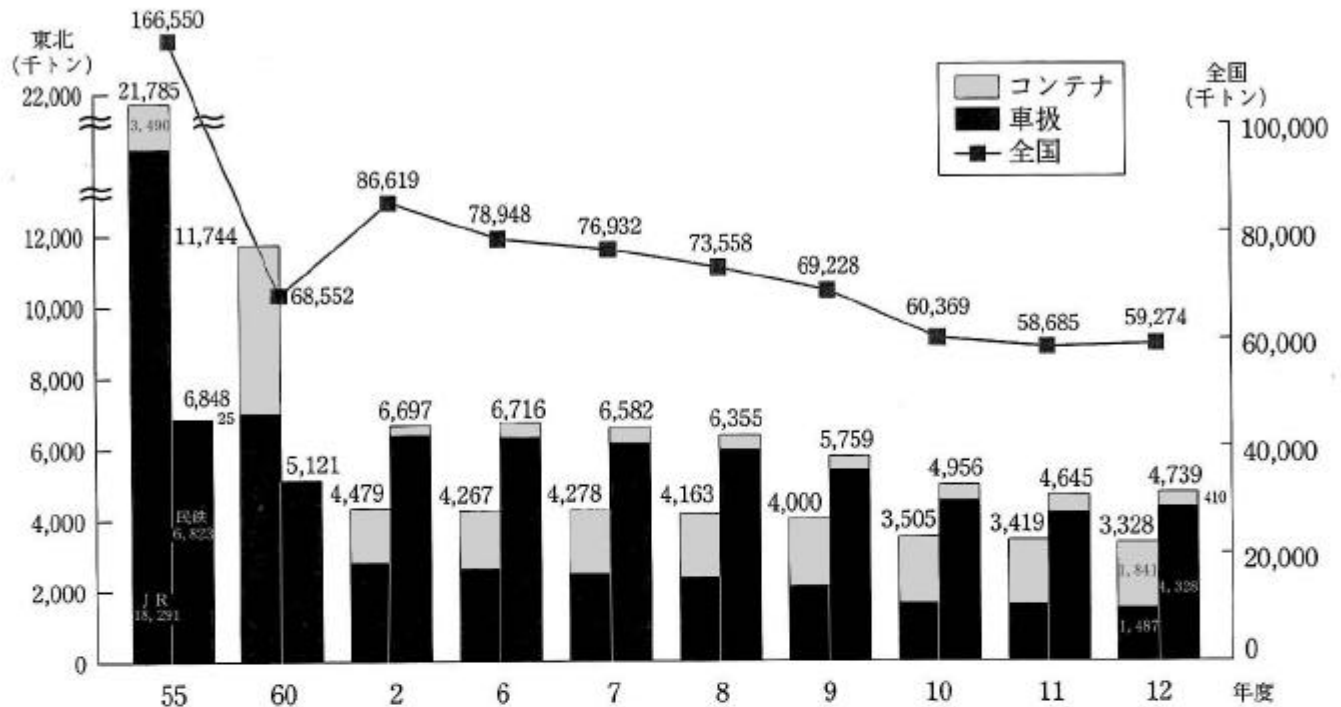
資料：貨物地域流動調査
 (注) ブロック内発着数量も含まれている。

3-2-3 東北と全国との貨物流動状況(平成12年度)



3-3 鉄道貨物輸送量の推移

● 鉄道貨物輸送トン数の推移

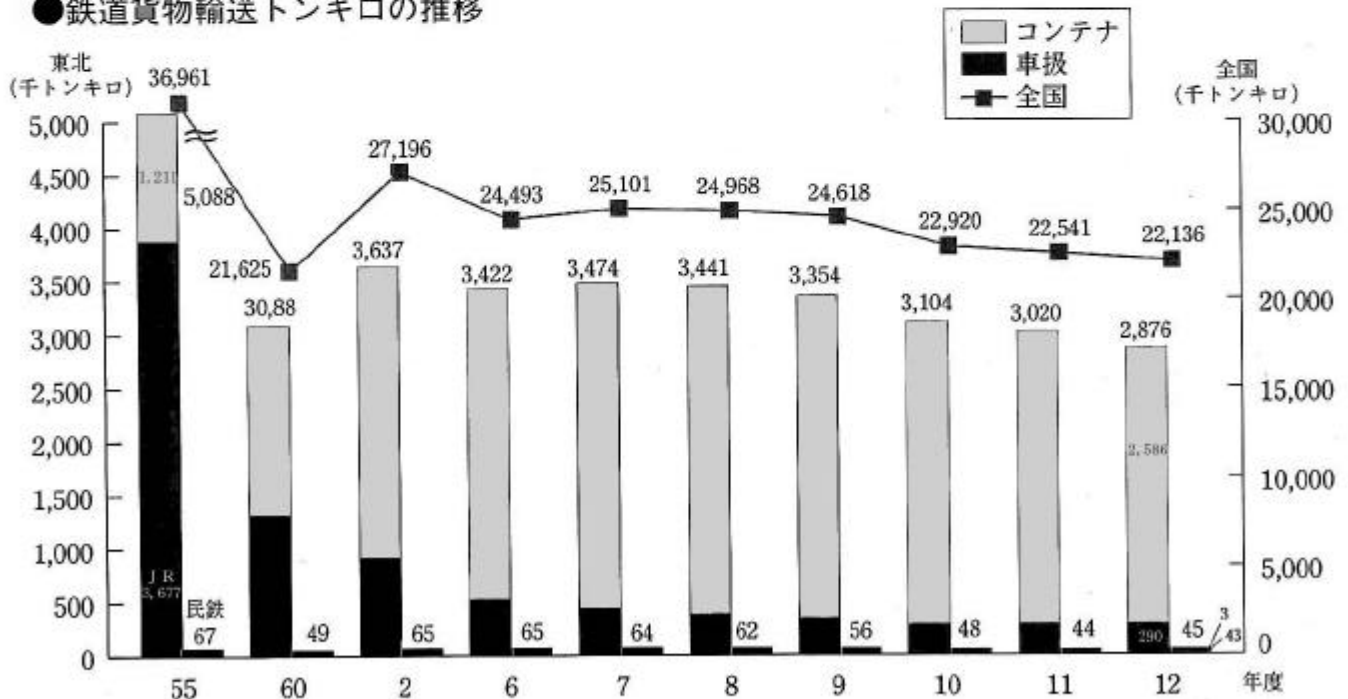


資料：55、60は陸運統計年報、以後は鉄道輸送統計年報

(注) 1. 東北運輸局管内4県の数値である。

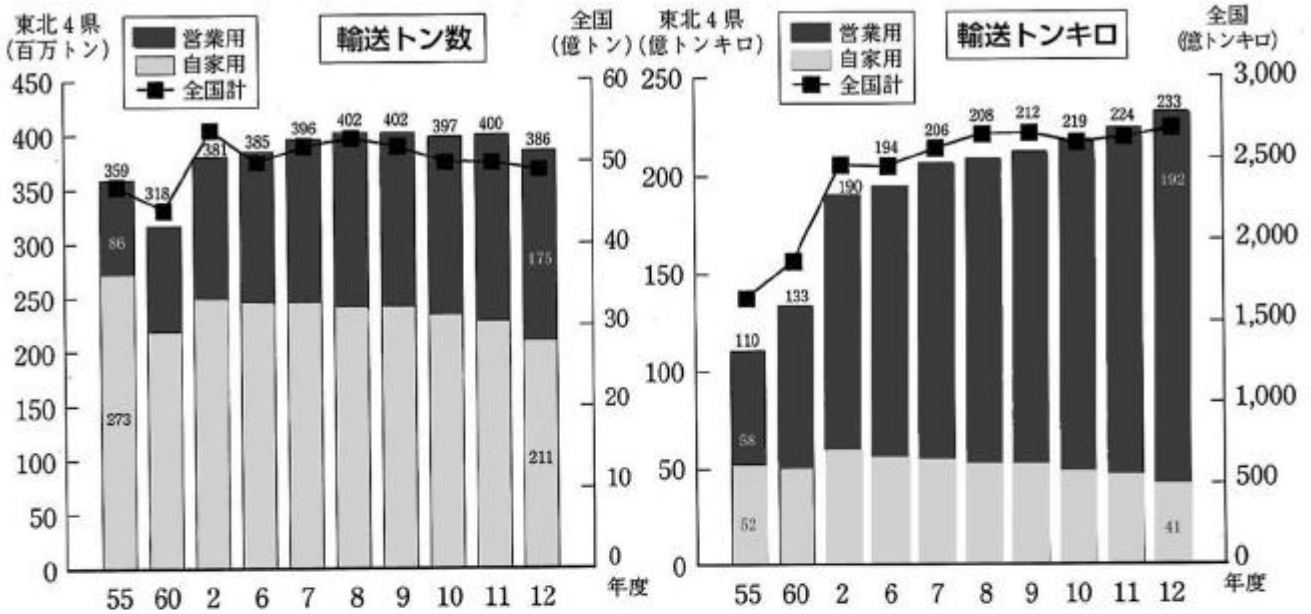
2. JRについては、東北発送トン数のみで通過を含まない。

● 鉄道貨物輸送トンキロの推移



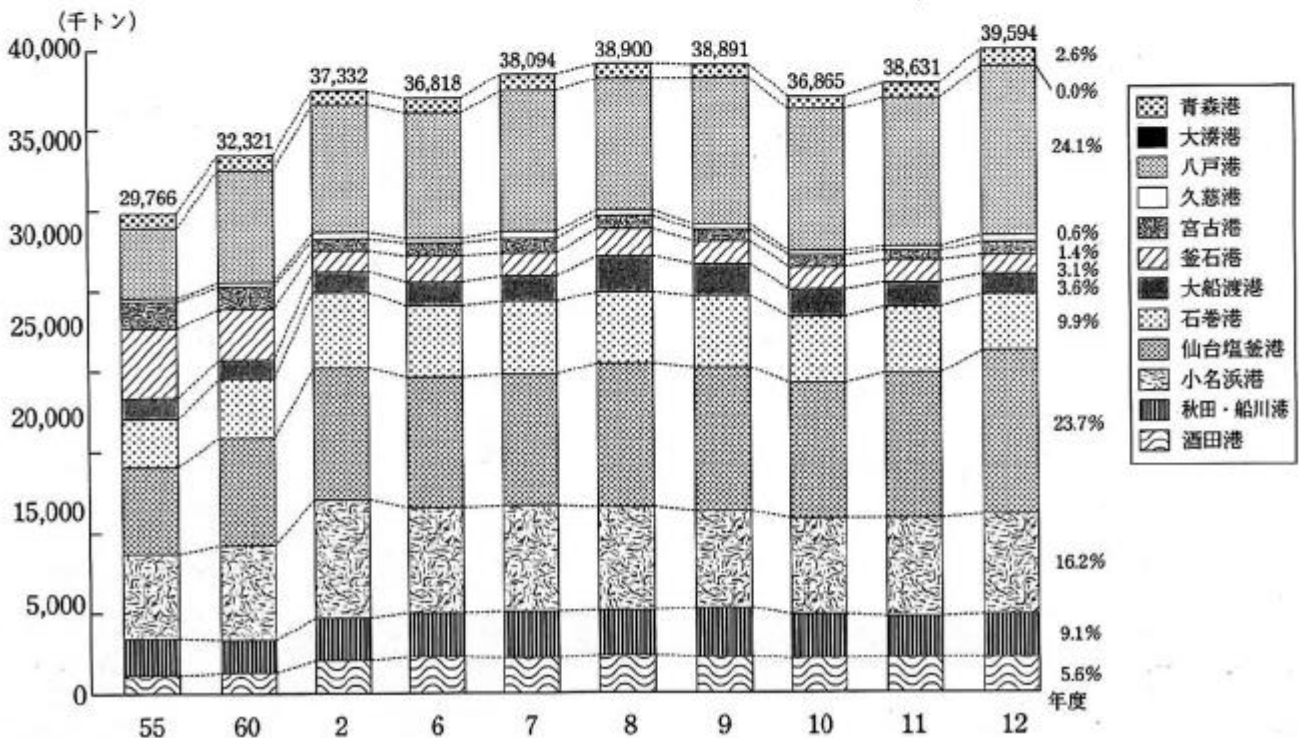
資料：S55、60は陸運統計年報、以後は鉄道輸送統計年報

3-4 貨物自動車輸送量の推移



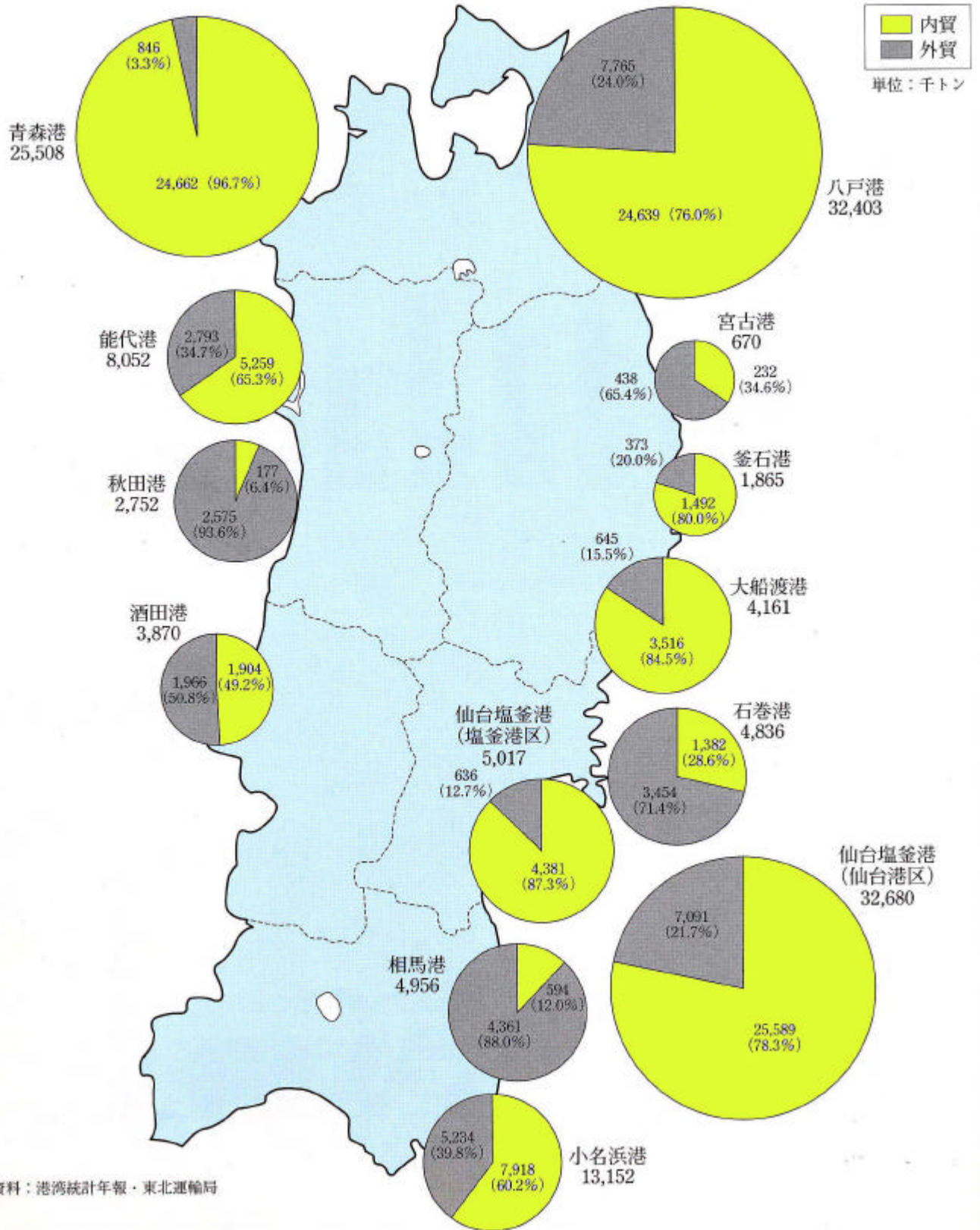
資料：自動車輸送統計年報 (注) 1. 東北4県=青森・岩手・宮城・福島 2. 元年度より軽自動車を含む。

3-5-1 港別港湾運送取扱貨物量の推移



資料：東北運輸局・北陸信越運輸局

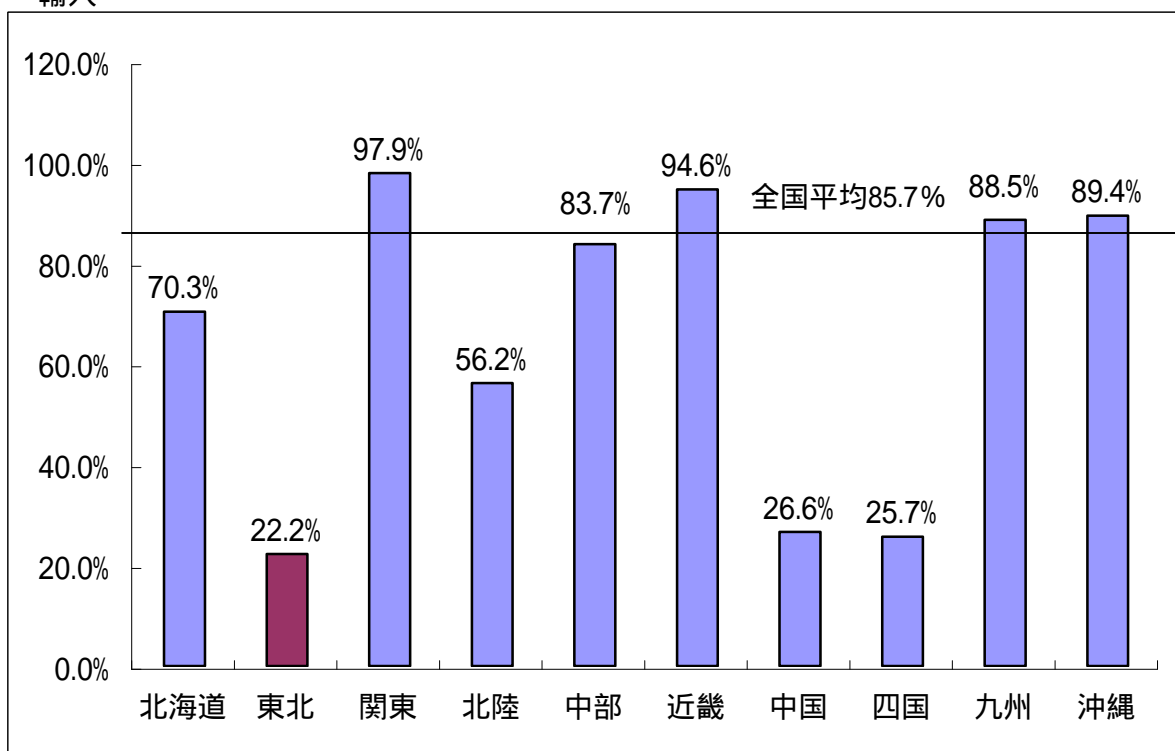
3-5-2 主要港の貨物取扱量(平成12年)



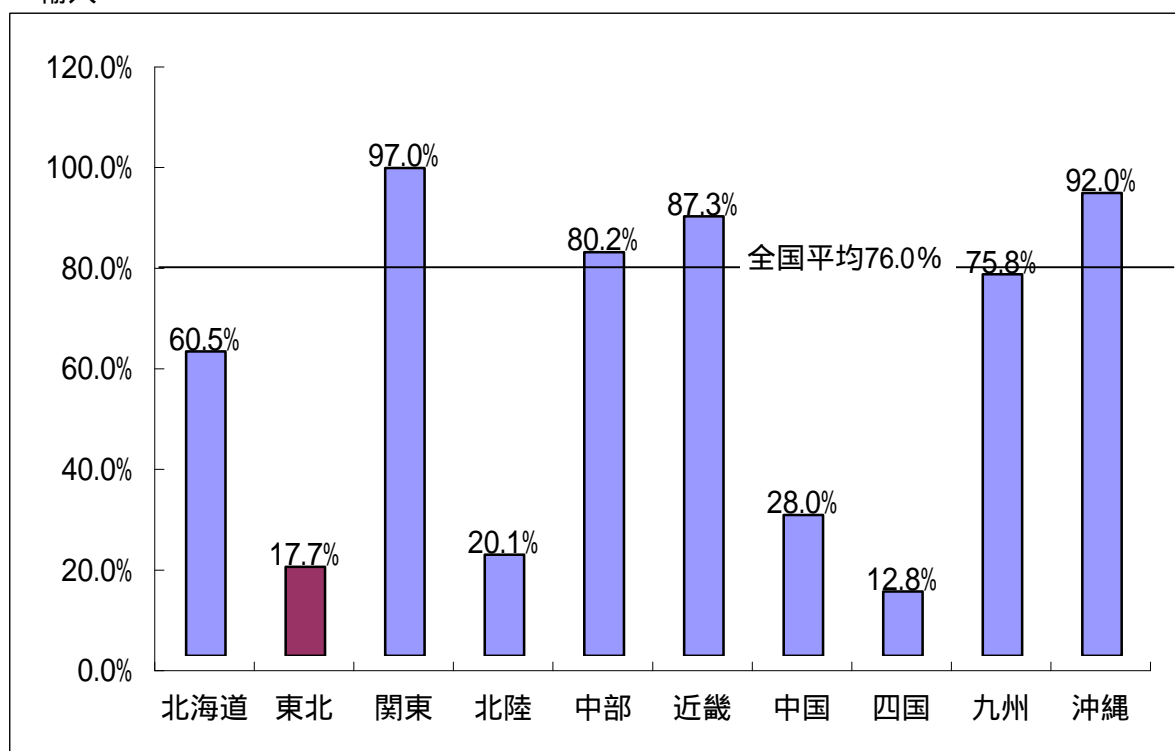
資料：港湾統計年報・東北運輸局

3-5-3 自地域内の港湾における外貿コンテナ貨物取扱量 (地域別)

輸入

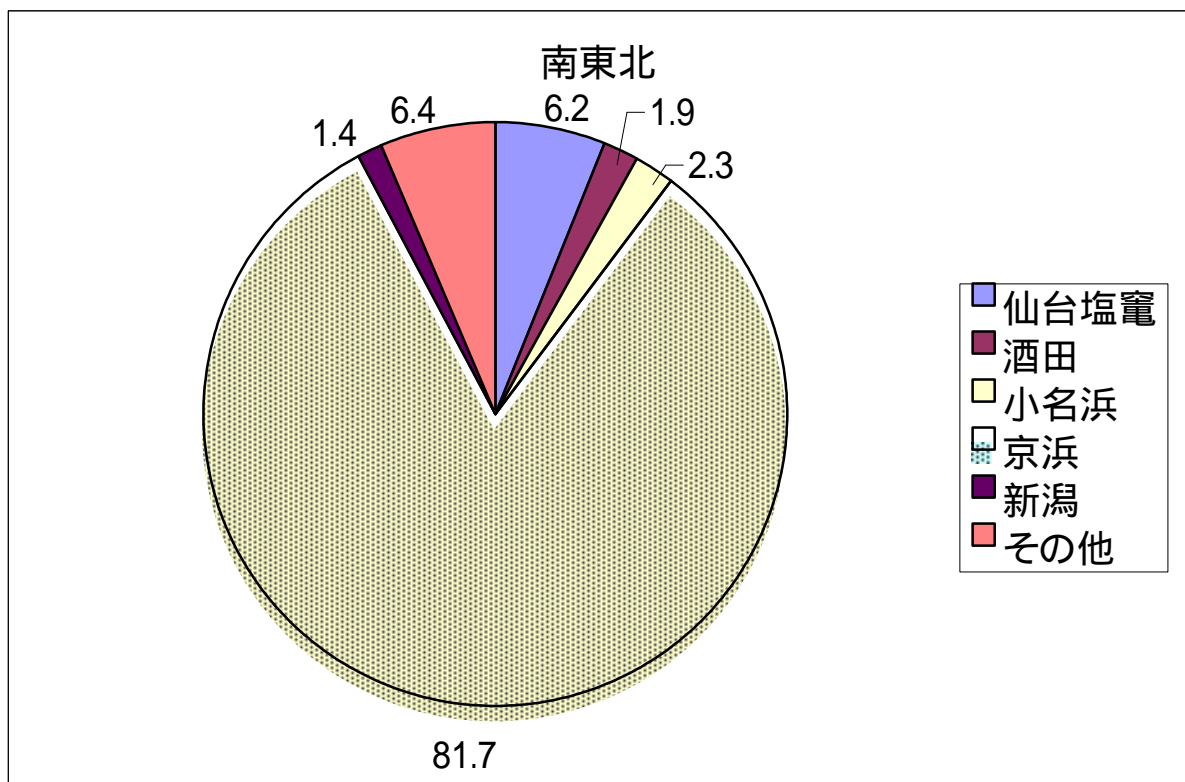
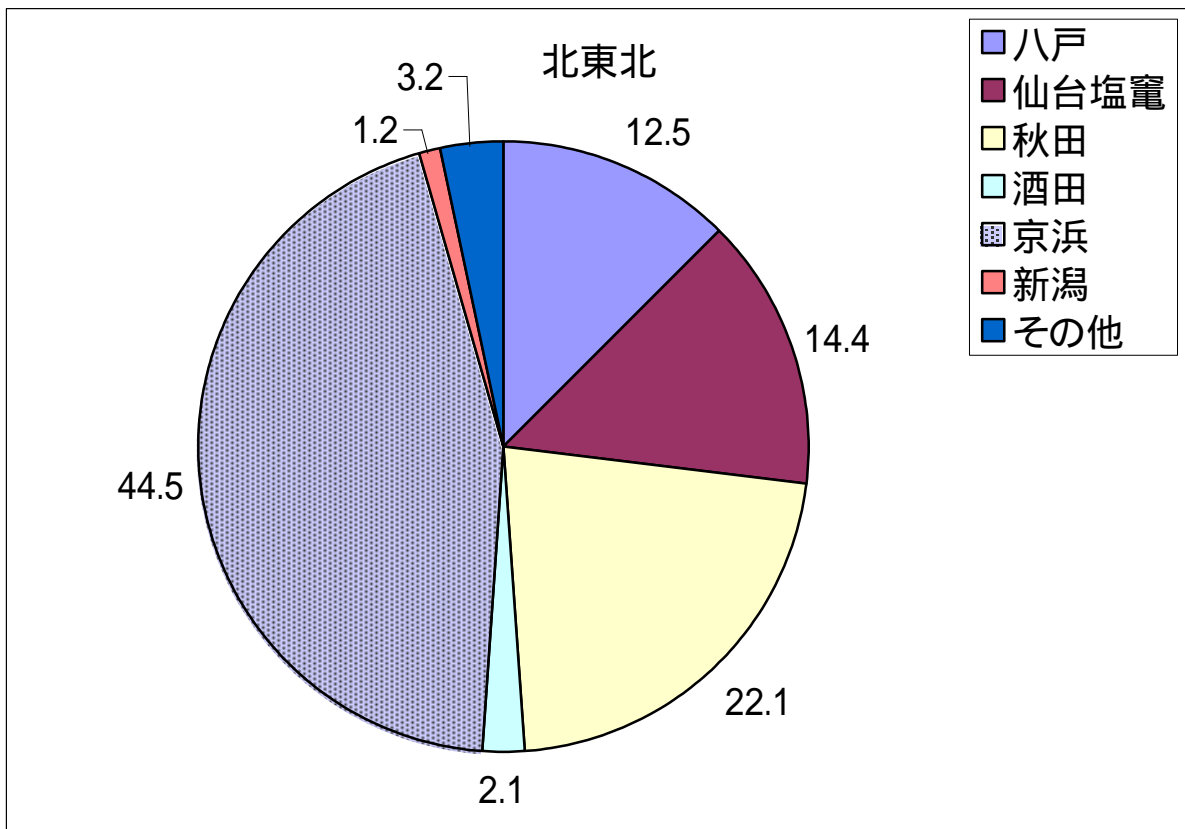


輸入



資料 :平成 10年外貿コンテナ貨物流動調査

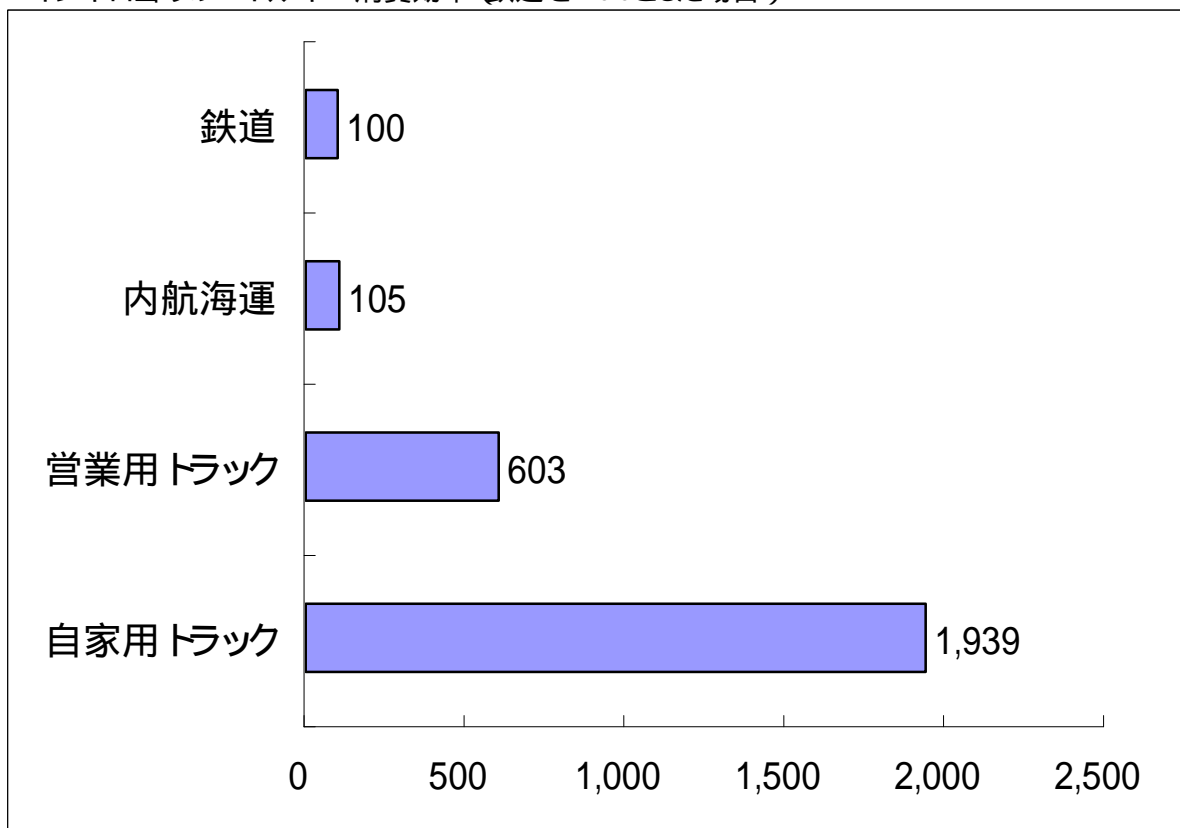
3-5-4 利用港湾割合 (東北国際海上コンテナ貨物)



資料: 全国輸出入貨物流動調査 (平成10年)

3-6 モーダルシフトの利点

トンキロ当りのエネルギー消費効率 (鉄道を100とした場合)



トンキロ当りのCO2排出量 (鉄道を100とした場合)

